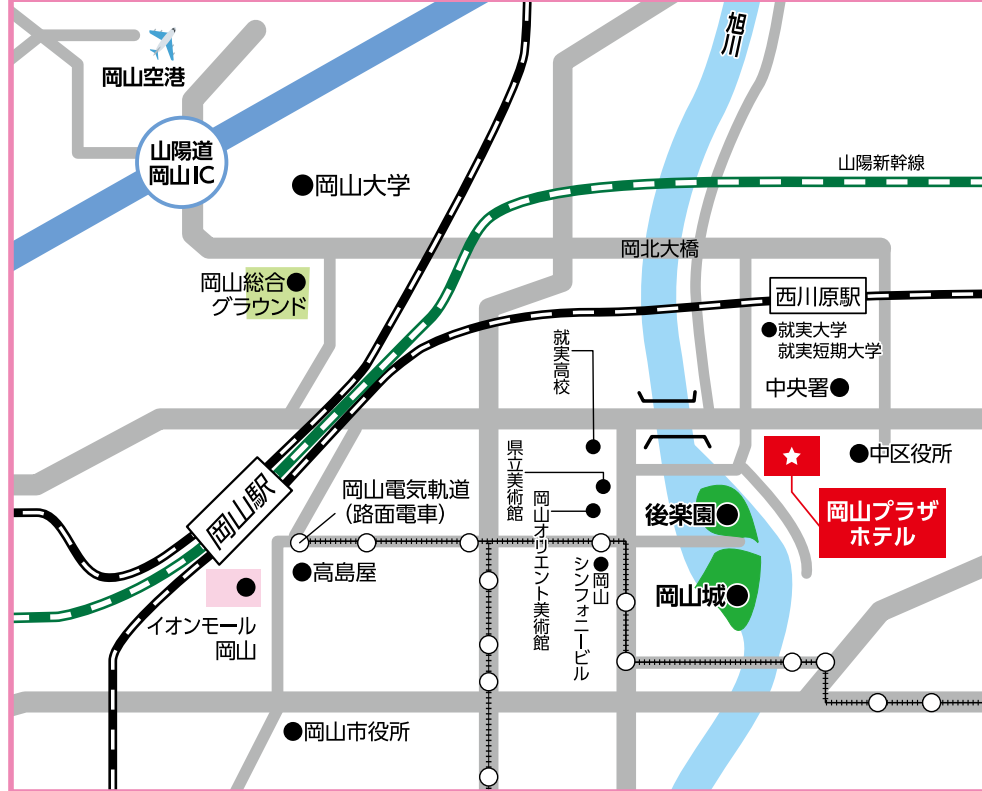


令和7年度 第21回

全国環境連 全国大会

原点から学び“つなげる”サステナビリティ ～不易流行～

大会会場案内図



JR 岡山駅	タクシーで約5分(1,200円程度)
JR 西川原駅	徒歩約12分
11番乗り場 岡山駅バス乗り場	宇野バス：東岡山線約8分140円 →浜（岡山プラザホテル前）バス停 →徒歩0分
1番乗り場	後楽園バス（岡山駅⇄後楽園）： 約10分100円 岡電バス：藤原団地行約10分140円 →蓬萊橋バス停より徒歩約3分
岡山 IC	車で約20分
岡山 空港	タクシーで約30分(6,700円程度)

会場

岡山プラザホテル 〒703-8256 岡山市中区浜2-3-12
TEL:086-272-1201 FAX:086-273-1557

〈大会参加のお申込み・お問い合わせ〉

岡山県環境整備事業協同組合

〒701-0202 岡山県岡山市南区山田291-2
TEL:086-282-6455 FAX:086-282-6685

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs目標6 安全な水とトイレを世界中に
2030年までに、汚染の減少、有害な化学物質や物質の投棄削減と最小限の排出、未処理の下水の割合半減、及びリサイクルと安全な再利用を世界全体で大幅に増加させることにより、水質を改善する。
(関連する目標のうち、一部を抜粋)



令和7年度 第21回 全国環境連 全国大会

2025.10.24〈Fri〉岡山プラザホテル

テーマ 原点から学び“つなげる”サステナビリティ

サブテーマ 「不易流行」

主催／全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
担当／全国環境連中国地区協議会（岡山県環境整備事業協同組合）

令和7年度 第21回 全国環境連 全国大会

原点から学び“つなげる” サステナビリティ ～不易流行～

目的

▶ 現代社会では、経済成長や技術革新が進む一方、環境破壊や資源の枯渇、社会的不平等が深刻化しています。持続可能な未来を実現するためには、一度立ち止まり、原点に立ち返って学び直すことが必要です。その際、古くからの知恵や伝統を現代社会に適應させ、新しい解決策を見つけることが求められます。ここで松尾芭蕉の「不易流行」という概念が鍵となります。「不易」は変わらない価値、「流行」は時代に応じた変化を指し、環境保護や資源の持続可能な利用という「不易」を守りつつ、技術の進化や社会の変化に対応する柔軟性を持つことが重要です。

我々一般廃棄物処理業者は、市町村の自治事務の代行者として、廃棄物処理事業が開始されたときから今日まで、適正な廃棄物処理を通じて、わが国の良質な水環境の確保及び公衆衛生の向上に寄与してきました。また、社会情勢に伴う法整備が進む中で、その都度緩やかながらも時代に応じた組織体制を構築し、住民の生活環境の保全に努めて参りました。しかし、近年の急速な社会変化により、気候変動、人口減少、デジタル化、地方から都市への人口流失など、持続可能性に関わる新たな課題が生じています。特に、地方の活力低下や里地里山の豊かな自然環境の喪失は深刻です。

こうした課題に対処するためには、地域の特性を生かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成することが必要です。それぞれの地域が近隣資源を補完し支え合う「地域循環共生圏」を構築することで、地域の持続可能性を高めることができます。さらに、コミュニティや社会全体で知識や技術を共有し、連携して問題を解決する取り組みが求められます。

サステナビリティの実現には、地域や国際社会全体が連携し、地球規模での協力が不可欠です。異なる国や文化、世代を超えた知恵の共有が持続可能な社会の基盤を築きます。また、サステナビリティは単なる環境保護にとどまらず、経済や社会の発展とも密接に関わっています。経済成長と環境保護が対立するのではなく、共存する形を模索し、循環型経済や再生可能エネルギーの活用、技術革新と環境保護が共に進化するモデルの構築が重要です。

このように、「不易流行」の考え方を基に、一般廃棄物業者が一堂に会し、地域循環共生圏という理念のもと、普遍的な価値を守りながら変化を柔軟に取り入れることで、持続可能な社会の実現に向け、一歩ずつ進むことが私たちの使命です。

※SDGs (Sustainable Development Goals) とは

私たちが直面する貧困や不平等、気候変動、環境劣化、平和など、グローバルな諸課題を解決し、誰一人置き去りにされない明るい未来を作るための、17の目標と169のターゲットで構成されている。

主催

全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
(略称：全国環境連)

後援

環境省・岡山県・岡山市
岡山県市長会・岡山県町村会

協賛

公益財団法人 日本環境整備教育センター
一般社団法人 全国浄化槽団体連合会
全国浄化槽推進市町村協議会

参加 予定者

全国環境連会員等 約500人



備中松山城（高梁市）

大会日程

令和7年10月24日〈金〉
岡山プラザホテル 〈受付12:30～〉

講演

〈時間〉13:30～15:40 〈場所〉4階 鶴鳴の間 〈司会〉上村明子

13:30 講演① 〈演題〉「廃棄物・資源循環行政の最近の動向について」
〈講師〉環境省 資源再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課

課長 杉本留三氏

14:30 休憩

14:40 講演② 〈演題〉「不易流行～変わらないものと、変わらずにはすまないもの～」
〈講師〉株式会社日本総合研究所 主席研究員

藻谷浩介氏

大会式典

〈時間〉16:00～17:00 〈場所〉4階 鶴鳴の間 〈司会〉上村明子

- | | |
|----------------|-------------|
| ① 物故者に対する黙祷 | ⑦ 大会スローガン発表 |
| ② 開会の辞 | ⑧ 大会宣言発表 |
| ③ 大会式辞 | ⑨ 来賓祝辞 |
| ④ 優良会員・従業員表彰 | ⑩ 祝電披露 |
| ⑤ 受賞者代表謝辞 | ⑪ 閉会の辞 |
| ⑥ 政府に対する要望決議発表 | |

懇親会

〈時間〉17:30～20:00 〈場所〉5階 延養の間 〈司会〉住宅正人

- | | |
|-------------|-----------|
| ★ オープニングアクト | ★ アトラクション |
| ① 開会の辞 | ⑥ 団旗引き継ぎ |
| ② 主催者挨拶 | ⑦ 次回担当県挨拶 |
| ③ 来賓祝辞 | ⑧ 閉会の辞 |
| ④ 来賓紹介 | |
| ⑤ 乾杯 | |



倉敷美観地区（倉敷市）
背景：蒜山高原とジャージー牛（真庭市）